

第55期 株主通信

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

業績ハイライト

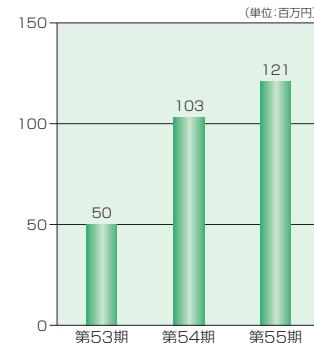
■ 受注高 (単位:百万円)



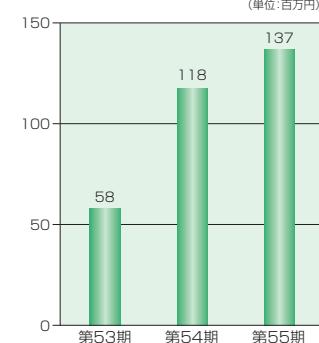
■ 売上高 (単位:百万円)



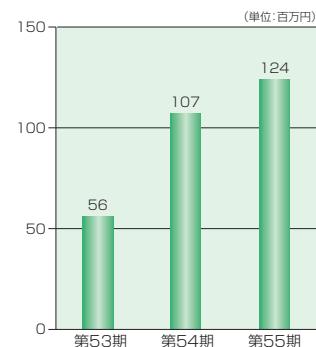
■ 営業利益



■ 経常利益



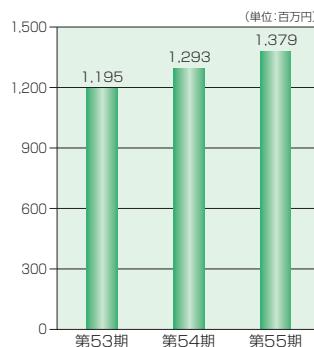
■ 当期純利益



■ 総資産



■ 純資産

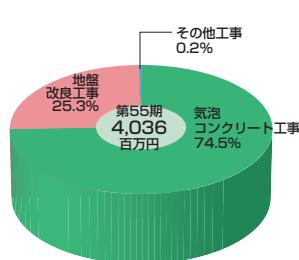


■ 1株当たり純資産



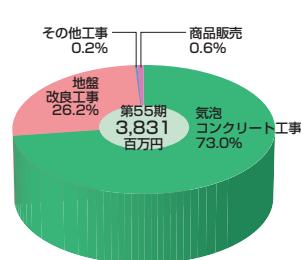
■ 受注高内訳及び構成比

第55期	
軽量盛土工事	1,388
管路中詰工事	971
空洞充填工事	645
気泡コンクリート工事計	3,004
地盤改良工事	1,022
その他工事	9
計	4,036



■ 売上高内訳及び構成比

第55期	
軽量盛土工事	1,451
管路中詰工事	689
空洞充填工事	653
気泡コンクリート工事計	2,794
地盤改良工事	1,003
その他工事	9
商品販売	23
計	3,831



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

第55期株主通信をお届けするに当たりご挨拶申し上げます。

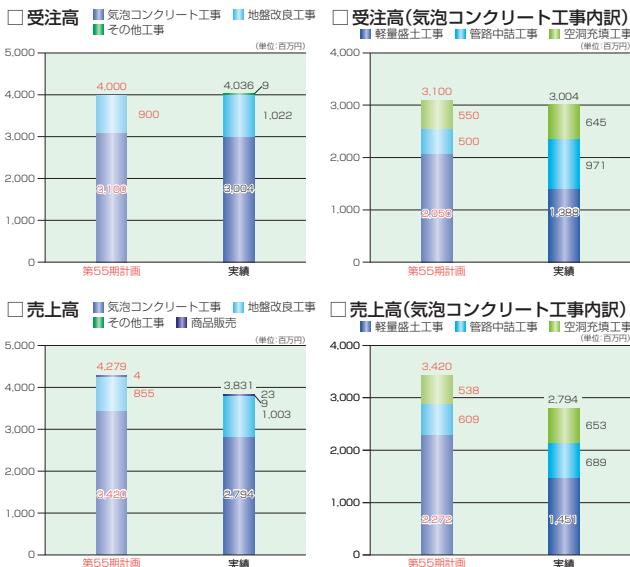
建設業界におきましては、政府建設投資は減少傾向に転じたものの、民間建設投資は堅調に推移し、また資材費や労務費等のコスト上昇が一服し、採算面では工事採算の改善が見られました。しかし一方では、受注環境面では受注競争が激しくなるなど厳しい環境で推移いたしました。

このような状況の下、当社は引き続き営業展開の強化をはかり、また施工人員の確保に注力し、コスト低減に取組み、受注量の獲得と収益性の改善をはかってまいります。

第56期事業年度は当社の再基盤作り（持続的成長と企業価値向上の基盤作り）の年度と位置づけ、「戦略シナリオによる受注力強化」「コスト対応力強化」「新提案のマーケティング」「技術進化への追従と提案」「個人能力強化と進化」の5つの核を経営方針の基盤に置き、各部署の成果達成を追求してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■第55期事業の概況



■次期の見通し

第56期事業年度の建設業界におきましては、景気の回復基調から民間建設投資の増加が見込まれておりますが、政府建設投資の減少傾向から全体の建設投資も減少すると見られており、引き続き受注価格競争が予想され、厳しい経済環境が続くと見られております。

かかる環境下、当社といたしましては、営業展開の効率化をはかり、受注の獲得に注力するとともに、施工効率の向上に取組み、収益性の改善に努めてまいります。次期の業績につきましては、主力の気泡コンクリート工事が軽量盛土工事を中心に需要が見込まれ、また地盤改良工事も堅調な受注が見込まれることから、受注高4,600百万円（当事業年度比13%増）、売上高4,656百万円（当事業年度比21%増）、営業利益130百万円（当事業年度比7%増）、経常利益142百万円（当事業年度比3%増）、当期純利益132百万円（当事業年度比6%増）を見込んでおります。

(注) 上記の予想は、本株主通信作成時において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おください。



代表取締役社長
河村 洋介

財務諸表（要約）

貸借対照表

(単位：千円)

区 分	第54期 平成27年3月31日現在	第55期 平成28年3月31日現在	増減額 (対前期)
資産の部			
流動資産	2,112,835	2,251,501	138,666
固定資産	1,449,659	1,440,111	△9,548
有形固定資産	1,289,723	1,283,363	△6,360
無形固定資産	7,279	5,633	△1,646
投資その他の資産	152,657	151,114	△1,543
資産合計	3,562,494	3,691,612	129,118
負債の部			
流動負債	1,631,816	1,625,099	△6,717
固定負債	637,283	686,547	49,264
負債合計	2,269,099	2,311,646	42,547
純資産の部			
株主資本	1,289,011	1,386,031	97,020
資本金	209,200	209,200	-
資本剰余金	180,400	180,400	-
利益剰余金	900,941	997,961	97,020
自己株式	△1,529	△1,529	-
評価・換算差額等	4,384	△6,066	△10,450
純資産合計	1,293,395	1,379,965	86,570
負債・純資産合計	3,562,494	3,691,612	129,118

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：千円)

区 分	第54期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	第55期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	増減額 (対前期)
売上高	4,108,747	3,831,625	△277,122
売上原価	3,452,131	3,133,339	△318,792
売上総利益	656,616	698,286	41,670
販売費及び一般管理費	553,556	576,959	23,403
営業利益	103,059	121,326	18,267
営業外収益	26,271	26,556	285
営業外費用	11,062	9,885	△1,177
経常利益	118,269	137,998	19,729
特別利益	213	374	161
税引前当期純利益	118,483	138,373	19,890
法人税、住民税及び事業税	11,550	23,200	11,650
法人税等調整額	△380	△9,157	△8,777
当期純利益	107,313	124,330	17,017

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	第54期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)	第55期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	増減額 (対前期)
営業活動による キャッシュ・フロー	178,960	372,887	193,927
投資活動による キャッシュ・フロー	△37,209	△45,234	△8,025
財務活動による キャッシュ・フロー	7,902	△35,322	43,224
現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)	149,653	292,329	142,676
現金及び現金同等物 の期首残高	541,211	690,865	149,654
現金及び現金同等物 の期末残高	690,865	983,194	292,329

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(単位：千円)

第55期 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	株主資本										評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・ 換算差額 等合計		
		資本 準備金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計						
					別途 積立金	繰越利益 剰余金							
当期首残高	209,200	180,400	180,400	24,050	985,000	△108,108	900,941	△1,529	1,289,011	4,384	4,384	1,293,395	
当期変動額													
剰余金の配当						△27,310	△27,310		△27,310			△27,310	
当期純利益						124,330	124,330		124,330			124,330	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										△10,450	△10,450	△10,450	
当期変動額合計	-	-	-	-	-	97,020	97,020	-	97,020	△10,450	△10,450	86,570	
当期末残高	209,200	180,400	180,400	24,050	985,000	△11,088	997,961	△1,529	1,386,031	△6,066	△6,066	1,379,965	

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 第55期決算のポイント

ポイント①受注高

気泡コンクリート工事全体の受注高は、前事業年度比4.7%減となりました。内訳は、管路中詰工事がガス配管関係の大型工事の受注により45.8%増となりましたが、気泡コンクリート工事の中で市場規模が大きい軽量盛土工事が受注価格競争の激化により15.3%減に、また空洞充填工事も24.0%減となりました。

地盤改良工事におきましては、前事業年度から発注がずれ込んだ大型工事の受注をはじめ受注が順調に推移し、前事業年度比112.6%増となりました。

ポイント②完成工事高

地盤改良工事の完成工事高が受注高の大幅増や順調な施工により、前事業年度比96.0%増となりました。

一方、受注高が減少した軽量盛土工事の完成工事高が5.0%減、空洞充填工事の完成工事高が20.7%減、また受注高が増加した管路中詰工事の完成工事高も工期の関係から40.7%減となり、気泡コンクリート工事全体の完成工事高は2,794百万円(前事業年度比20.5%減)

となったことで、工事全体の完成工事高は前事業年度比5.5%減となりました。

ポイント③完成工事総利益

地盤改良工事の完成工事総利益率が、受注価格競争の激化から前事業年度に比べ0.5ポイント悪化しましたが、気泡コンクリート工事の完成工事総利益率が、管路中詰工事の受注単価の好転や工期短縮など施工効率の向上に注力した結果、前事業年度に比べ4.3ポイント改善したことで完成工事高の減少を十分にカバーし、工事全体の完成工事総利益は前事業年度比6.3%増となりました。

ポイント④営業利益

売上高の減少や人件費増などによる販売費及び一般管理費の増加(前事業年度に比べ23百万円増)がありましたが、完成工事総利益率の改善により完成工事総利益が増加したことから、営業利益は前事業年度比17.7%増となりました。

トピックス

〔NLG工法の開発〕

長距離圧送が求められる長いトンネル等の背面空洞補修や、構造物と地山との空洞等との充填材として、湧水場所や水中での施工が可能な非エア系可塑状グラウト材を開発し、同時に開発を進めていた注入システムと合わせ、NLG工法として確立いたしました。第55期におきましては、旧下水（既設廃棄管）の埋戻し及び構造物の基礎下空洞充填工事の実施工を行いました。現在NETIS（国土交通省の新技术情報提供システム）に登録申請中で、今後同工法の普及に注力してまいります。

【充填状況】



〔注入プラント〕



〔既設管充填〕



〔構造物基礎下空洞充填〕

〔地盤改良工事の大型物件の受注〕

当社保有のアスコラム工法（φ2,000mm）で、これまでの当社における地盤改良工事の建築分野での最大型物件を受注し、施工いたしました。今後も当社保有の他工法も含め施工機械の設備投資を計画的に行い、お客様のニーズに応じてまいります。



アスコラム工法（新奈良県総合医療センター建築工事）

■ 会社概要 (平成28年3月31日現在)

会社名	麻生フォームクリート株式会社
本社所在地	神奈川県川崎市中原区荻宿36番1号
従業員数	81名
設立	1961年(昭和36年)6月1日
資本金	2億920万円
主な事業内容	気泡コンクリートの現場施工 地盤改良工事の施工 その他工事の施工及び工事施工用資材 (起泡剤等)の商品の販売

■ 役員 (平成28年6月28日現在)

代表取締役社長	河村 洋介
常務取締役	花岡 浩一
取締役	福原 章介
取締役	杉山 嘉則
常勤監査役	阿部 新太郎
監査役	沼田 紳介
監査役	大瀧 理
監査役	大木 章史

■ 株式の状況 (平成28年3月31日現在)

■発行可能株式総数	普通株式	12,080,000株
■発行済株式の総数	普通株式	3,413,806株 (自己株式6,194株を除く)
■一単元の株式の数		1,000株
■株主数		635名 (うち議決権を有する株主数272名)

■大株主

株主名	所有株式数(株)	所有株式数の割合(%)
株式会社麻生	1,420,000	41.59
株式会社麻生地所	400,000	11.71
麻生商事株式会社	300,000	8.78
宗教法人萬福寺	240,000	7.03
株式会社三井住友銀行	60,000	1.75
株式会社福岡銀行	60,000	1.75
株式会社西日本シティ銀行	60,000	1.75
麻生フォームクリート従業員持株会	56,400	1.65
廣告社株式会社	50,000	1.46
麻生興産株式会社	40,000	1.17

(注) 所有株式数の割合は自己株式(6,194株)を控除して計算しております。

● 主な工事経歴

注文者	工事名
日鉄住金パイプライン&エンジニアリング株式会社	古河・真岡幹線 ガス管理設工事 (A、B、C工区)
上武建設株式会社	新奈良県総合医療センター建築工事
株式会社今西組	奥瀬道路竹筒地区改良工事 (HI工区)
株式会社大林組	富山ライン建設工事 (A-1工区)
前田建設工業株式会社	新名神高速道路 道場トンネル工事

● 事業所・営業所

東京事業所	神奈川県川崎市中原区荻宿36番1号
大阪事業所	大阪府茨木市沢良宜西4丁目15番14号
福岡事業所	福岡県糟屋郡須恵町大字須恵714番地1
札幌営業所	北海道札幌市中央区北一条西16丁目1番地27 北海道たばこ会館ビル4F
東北営業所	宮城県仙台市太白区泉崎1丁目32番20号 プレミア泉崎102号室
東京営業所	東京都千代田区内幸町1丁目1番7号 NBF日比谷ビル15F

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
及び特別口座の 三井住友信託銀行株式会社
口座管理機関
- 郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)

○住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

○未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

○「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。
確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

ホームページのご案内

麻生フオームクリートはホームページ上でも各種IR情報を発信しております。ぜひご利用ください。

<http://www.asofoam.co.jp/>



 **麻生フオームクリート株式会社**

神奈川県川崎市中原区荻宿36番1号

お問い合わせ先 TEL044-422-2061(代表) 事業支援本部経営支援グループ